

名前 _____

理科

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 授業用テキストを読み直す 太字になっている部分は書いて覚えるとよい。	
② 宿題用テキストの基本問題A	
③ 宿題用テキストの基本問題B	
④ 宿題用テキストの復習問題	
⑤ 週テスト復習用を解く。	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって余裕があれば、やりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題A	

発展メニュー (☆) …他の教科の宿題が終わって、さらに余裕があれば、やりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題B	

担当より一言

今回は、電熱線と電球について学習しました。

今回の範囲のメインとなるのが電熱線と抵抗の関係です。

電熱線は土管のイメージを持ち、通り抜けにくい＝抵抗が大きい＝電流が小さい、通り抜けやすい＝抵抗が小さい＝電流が大きいと連想できるようにしましょう。

そうすると電熱線の長さや抵抗が比例し、断面積と抵抗が反比例することもわかると思います。

また、電熱線と発熱量の関係については、電球の明るさと基本は同じです。

直列つなぎと並列つなぎのそれぞれで、抵抗が大きい方と小さい方のどちらが明るく光るのがわかっている場合、計算自体は難しくありません。

電球と電熱線、それぞれが別のものでなく、つながっているものとして覚えるようにしましょう。

※第5回G模試の範囲は第34回～第42回内容です。

※第42回は演習回のため、家庭学習レポートはございません。宿題は、授業で扱った演習問題の直しと、週テストの直しは行いましょう。余裕があったら授業で扱っていない問題を解いてみましょう。